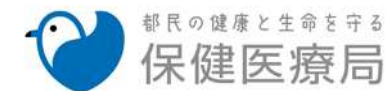


令和8年3月19日(木)  
令和7年度第2回東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会



資料 7

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標

東京都保健医療局保健政策部  
健康推進課成人保健担当

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(1/16)

## 1 令和4年度実施分プロセス指標 (令和6年度調査)

※基準値 (69歳以下) を満たしていないものは赤字

プロセス指標	実施年度	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん			乳がん
		X線	内視鏡			20-69歳	20-39歳	40-69歳	
		50-69歳	50-69歳						
要精検率	R4	<b>6.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>1.6%</b>	<b>5.2%</b>	<b>2.9%</b>	<b>4.5%</b>	<b>2.1%</b>	<b>7.7%</b>
	基準値	7.0%以下	7.1%以下	2.0%以下	6.2%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下	6.8%以下
精検受診率	R4	<b>64.8%</b>	<b>96.8%</b>	<b>74.3%</b>	<b>62.2%</b>	<b>78.0%</b>	<b>77.0%</b>	<b>79.2%</b>	<b>88.1%</b>
	基準値	90%以上							
精検未受診率	R4	5.7%	0.6%	3.7%	11.1%	4.5%	4.5%	4.5%	2.5%
精検未把握率	R4	29.5%	2.6%	22.0%	26.7%	17.5%	18.5%	16.3%	9.4%
陽性反応適中度*	R4	<b>0.4%</b>	<b>2.6%</b>	<b>1.4%</b>	<b>2.6%</b>	<b>5.7%</b>	<b>4.4%</b>	<b>7.3%</b>	<b>5.1%</b>
	基準値	1.1%以上	1.9%以上	1.6%以上	2.6%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上	4.3%以上
がん発見率*	R4	<b>0.03%</b>	<b>0.15%</b>	<b>0.02%</b>	<b>0.13%</b>	<b>0.17%</b>	<b>0.20%</b>	<b>0.15%</b>	<b>0.39%</b>
	基準値	0.08%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.16%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上	0.29%以上

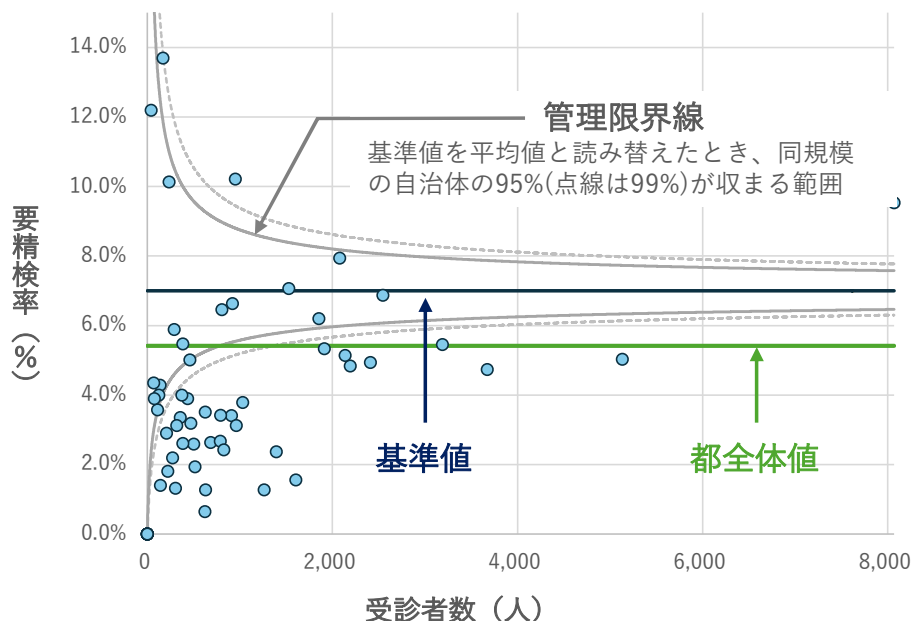
\*子宮頸がん検診はCIN3以上の発見率又は陽性反応適中度

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(2/16)

## 2 令和5年度実施分プロセス指標 (令和7年度調査)

### はじめに

区市町村間でのバラつきや人口規模に応じた公平な評価をするため、それぞれの規模に応じた許容範囲を可視化するファンネルプロットを用いた評価・分析を行う



### 特徴

- 横軸に規模 (= 受診者数/要精検者数)、縦軸に割合をとった散布図
- 統計学の区間推定の考え方を応用
- 基準値を中心に、規模による数値のバラつきを考慮した許容範囲 (95%/99%) ※を管理限界線により可視化
- 規模が大きくなるほど許容範囲は狭くなる
- 許容範囲を逸脱した自治体の抽出が可能

※ 小さい母数でも安定した区間を得るため、Wilson法を用いて許容範囲を算出する

$$\frac{P + \frac{Z^2}{2n} \pm Z \sqrt{\frac{P(1-P)}{n} + \frac{Z^2}{4n^2}}}{1 + \frac{Z^2}{n}}$$

P: 基準値 n: 母数 Z: 標準正規分布に基づく係数 (95%: Z=1.96、99%: Z=2.58)

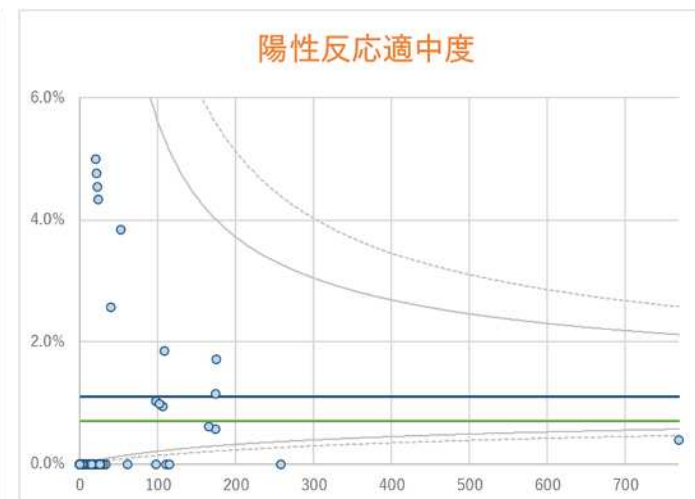
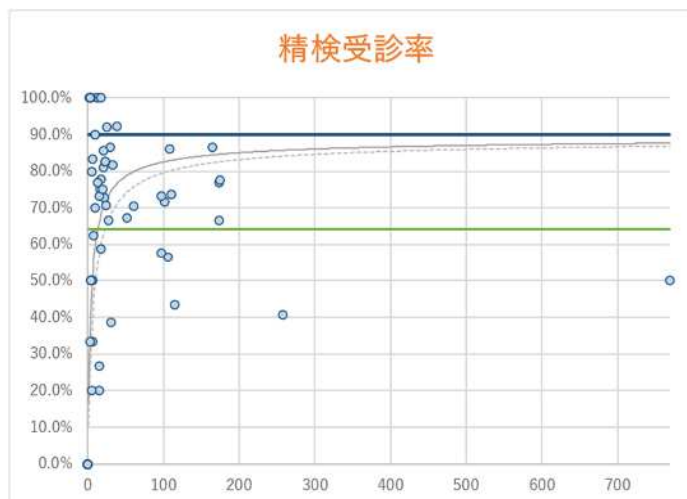
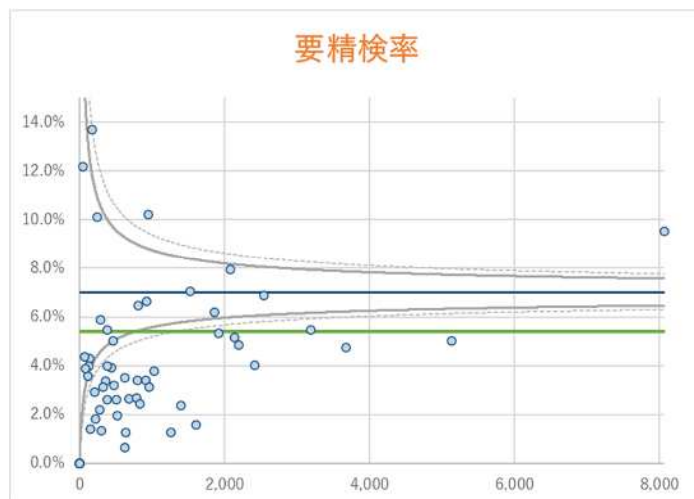
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(3/16)

胃がん（エックス線）

69歳以下

- 5がん6種の中で精検受診率が最も低い（R4年度は64.8%）
- 陽性反応適中度が統計学的有意に高い自治体はなかった

	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	5.4%	64.1%	0.7%
基準値	7.0%以下	90%以上	1.1%以上



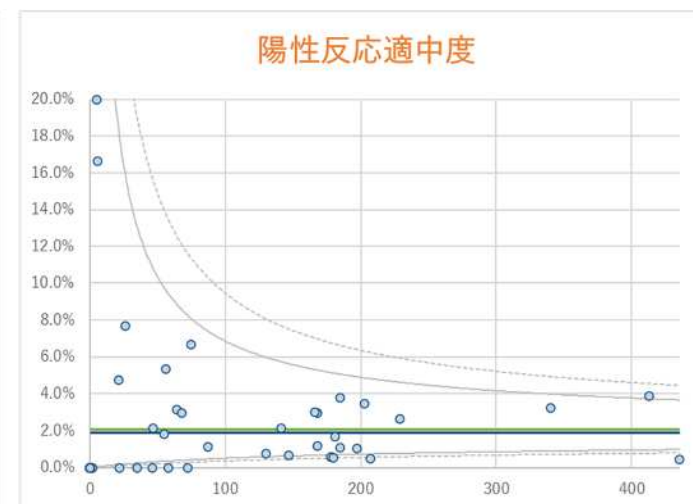
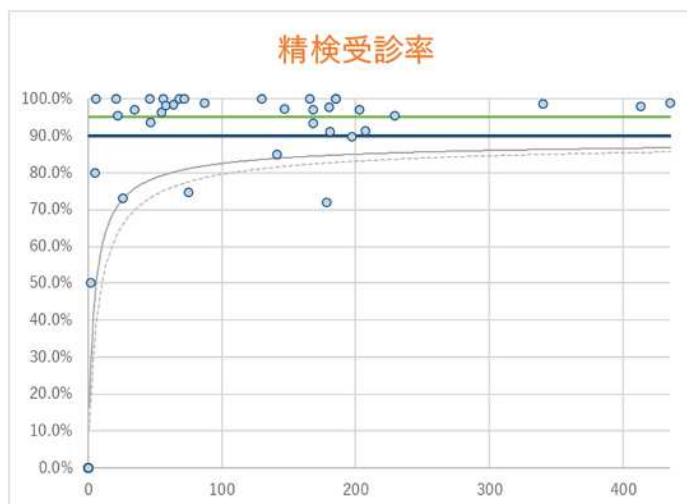
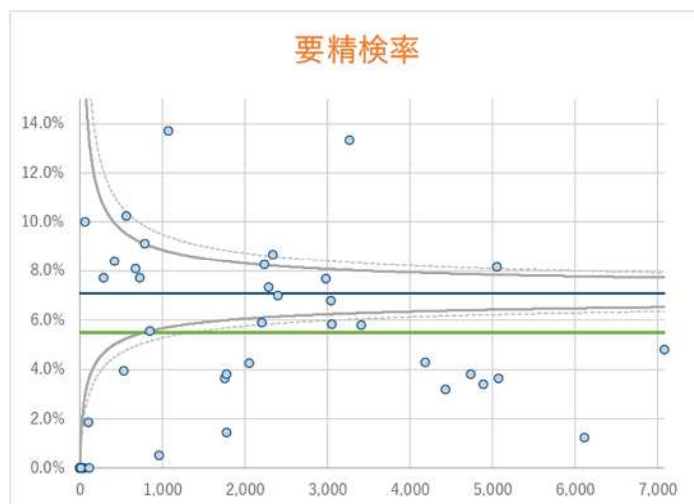
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(4/16)

胃がん（内視鏡）

69歳以下

- 都として基準値は満たしているが、エックス線と比較して**要精検率が高値である自治体の割合が高い**
- 都として基準値は満たしているが、**精検受診率が低いいくつかの自治体の体制に留意**

	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	5.5%	95.2%	2.1%
基準値	7.1%以下	90%以上	1.9%以上



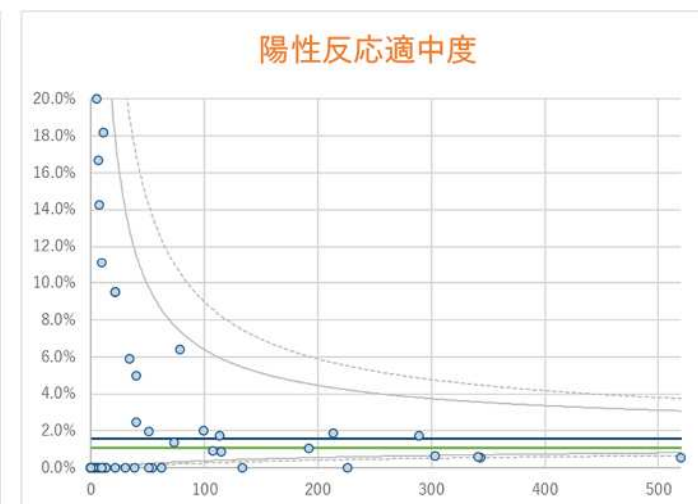
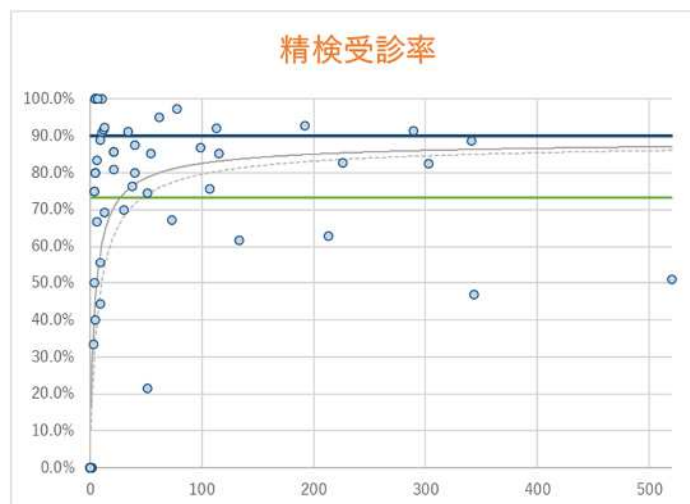
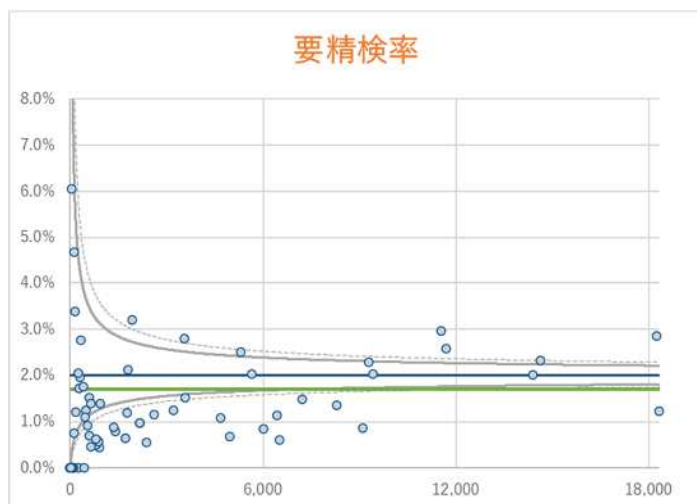
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(5/16)

肺がん

69歳以下

- 精検受診率が基準値を下回り、前年度比で1.1ポイント減少 (R4年度は74.3%)
- 陽性反応適中度が統計学的有意に高い自治体はなかった

	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	1.7%	73.2%	1.1%
基準値	2.0%以下	90%以上	1.6%以上



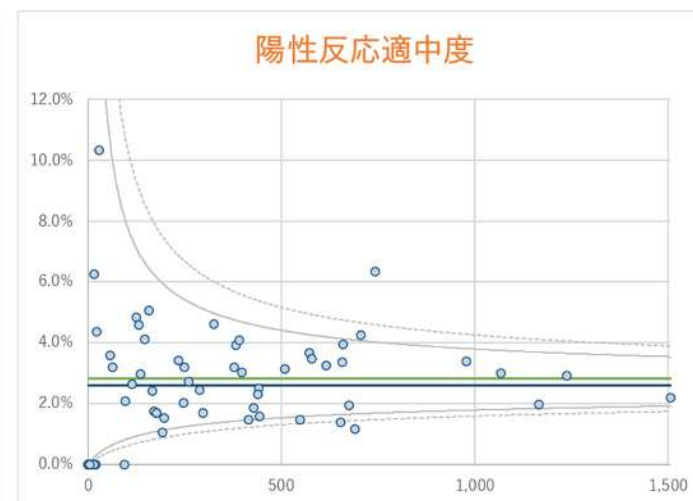
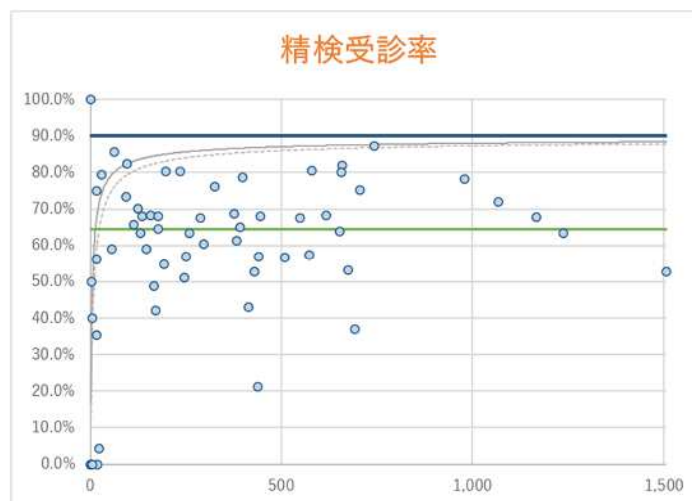
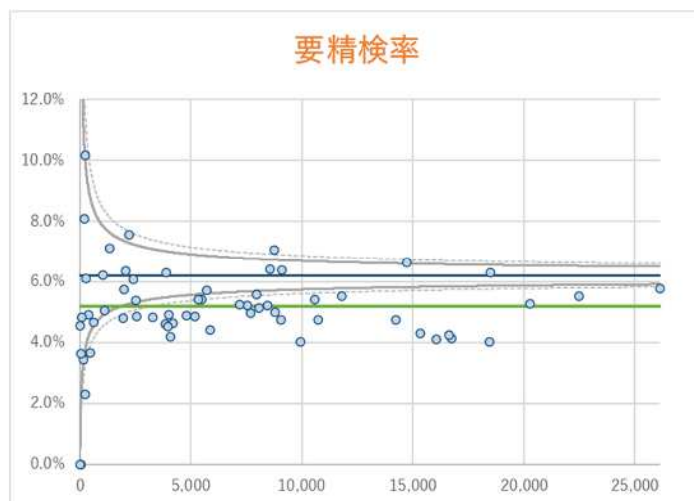
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(6/16)

大腸がん

69歳以下

- 多くの自治体が要精検率の基準値を満たしており、高値である自治体の割合が最も低い
- 都全体値は前年度比で2.3ポイント増加しているが、規模の大きい自治体で精検受診率が低い

	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	5.2%	64.5%	2.8%
基準値	6.2%以下	90%以上	2.6%以上



# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(7/16)

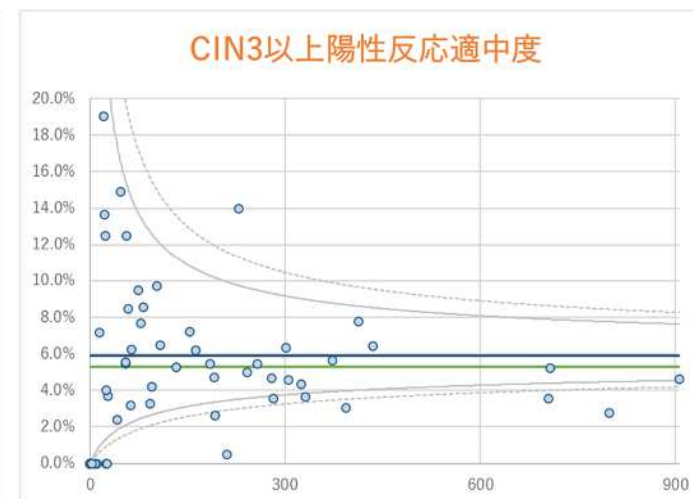
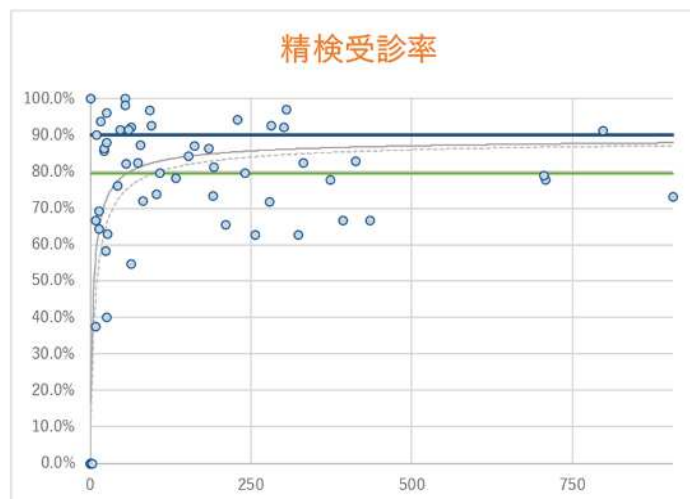
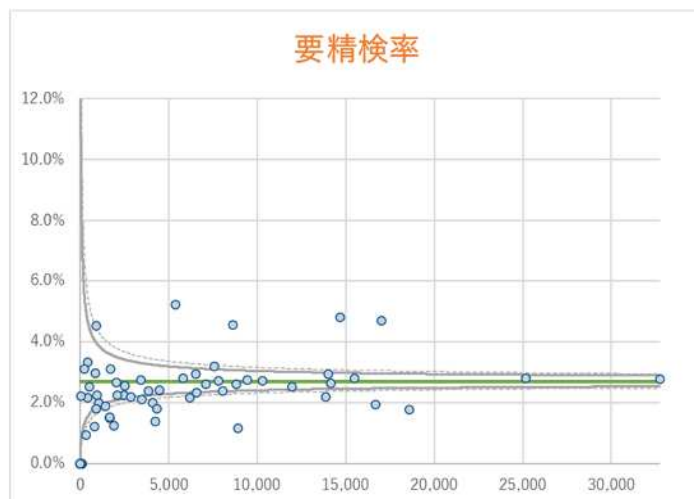
子宮頸がん

20~69歳

\*CIN3以上の陽性反応適中度

- 要精検率は、都全体値も基準値と同値で、多くの自治体が基準値近くに集まっている
- CIN3以上の陽性反応適中度は基準値を下回り、前年度比で0.4ポイント減少（R4年度は5.7%）

	要精検率	精検受診率	CIN3以上陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	2.7%	79.5%	5.3%
基準値	2.7%以下	90%以上	5.9%以上



※規模が小さく極端な高値の自治体は掲載していない

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(8/16)

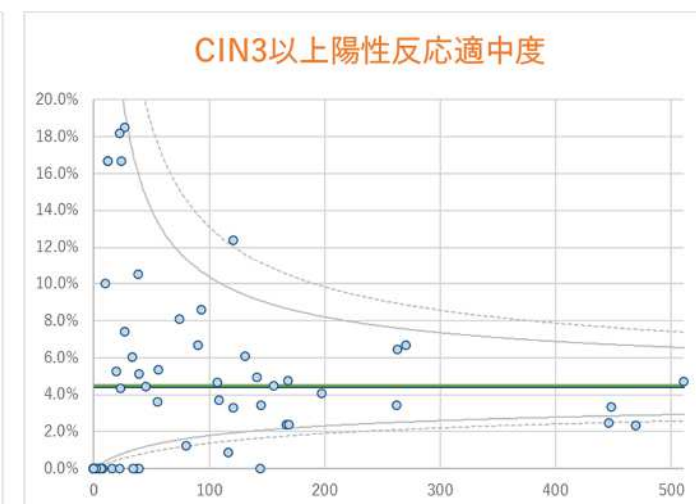
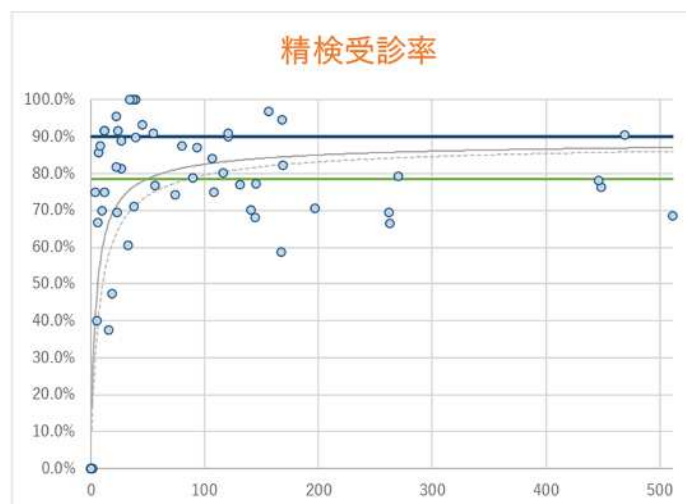
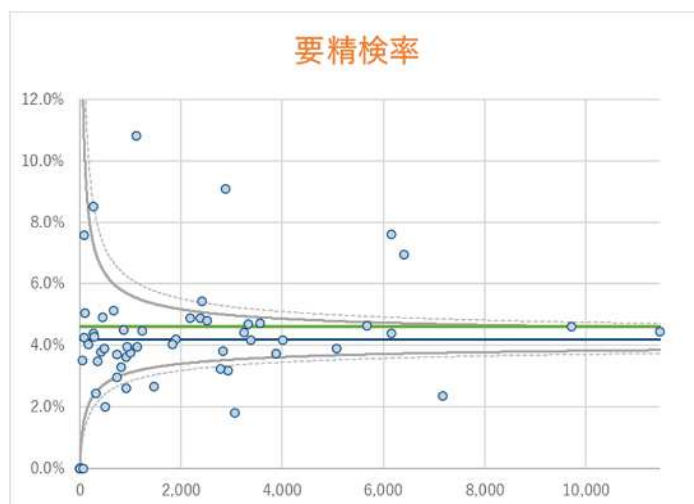
子宮頸がん

20~39歳

\*CIN3以上の陽性反応適中度

- 20~39歳の要精検率は、**基準値を超過しており、極端に高値の自治体もある**
- 子宮頸がんの中で、**精検受診率が基準値に到達している自治体の割合が最も低い (26.9%)**

	要精検率	精検受診率	CIN3以上陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	<b>4.6%</b>	<b>78.4%</b>	<b>4.5%</b>
基準値	4.2%以下	90%以上	4.4%以上



※規模が小さく極端な高値の自治体は掲載していない

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(9/16)

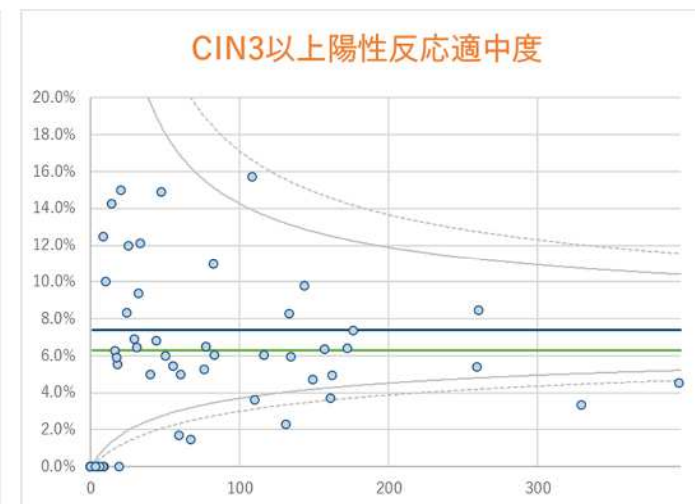
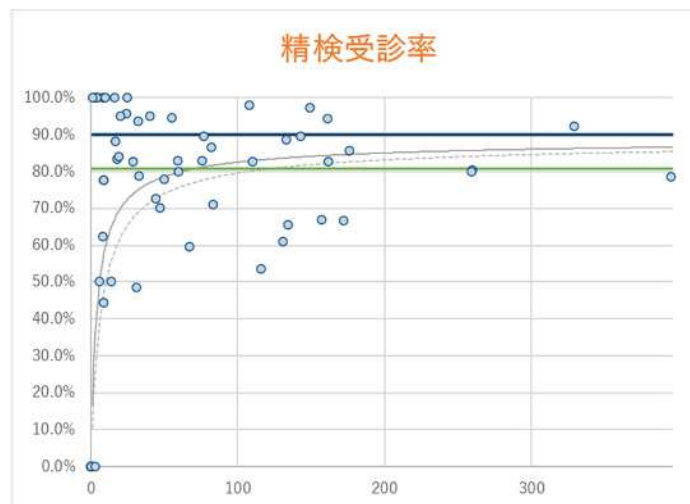
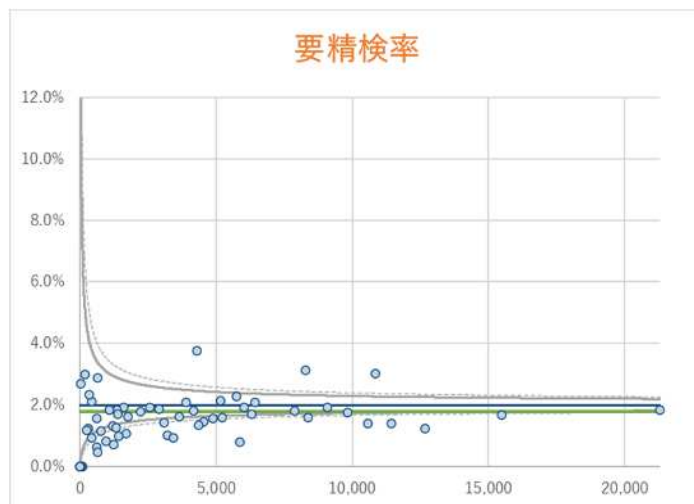
子宮頸がん

40~69歳

\*CIN3以上の陽性反応適中度

- 要精検率は基準値を満たしており、高値である自治体の割合が20~39歳の半数である
- 子宮頸がんの中で最も精検受診率が高い (R4年度は79.2%)

	要精検率	精検受診率	CIN3以上陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	1.8%	80.9%	6.3%
基準値	2.0%以下	90%以上	7.4%以上



※規模が小さく極端な高値の自治体は掲載していない

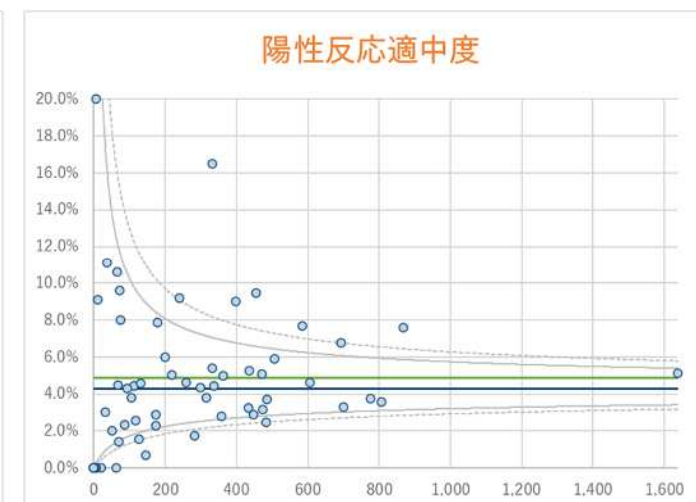
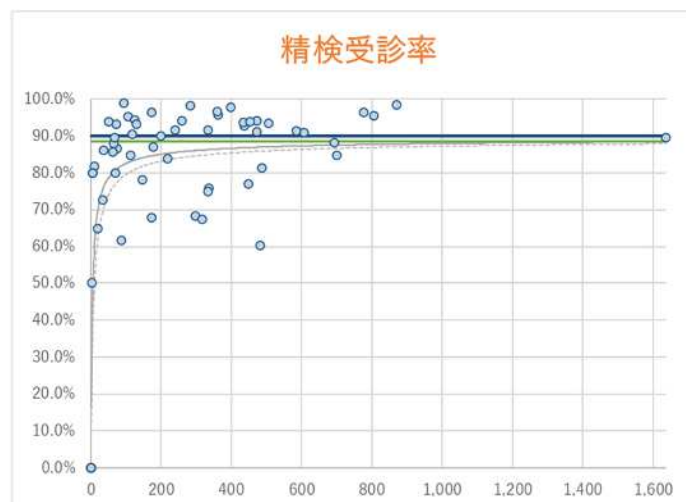
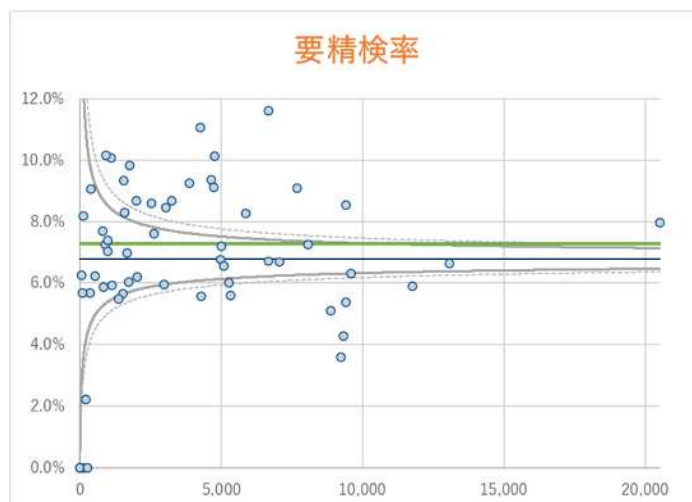
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(10/16)

乳がん

69歳以下

- 要精検率は、高値である自治体の割合が最も高く、全体の3割以上の自治体が高値となっている
- 精検受診率が胃がん（内視鏡）の次に高く、前年度比で0.4ポイント増加（R4年度は88.1%）

	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度
令和5年度数値 (都全体値)	7.3%	88.5%	4.9%
基準値	6.8%以下	90%以上	4.3%以上



# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(11/16)

## まとめ

※基準値（69歳以下）を満たしていないものは赤字

プロセス指標	実施年度	胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん			乳がん
		X線	内視鏡			20-69歳	20-39歳	40-69歳	
		50-69歳	50-69歳						
要精検率	R5	5.4%	5.5%	1.7%	5.2%	2.7%	4.6%	1.8%	7.3%
	基準値	7.0%以下	7.1%以下	2.0%以下	6.2%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下	6.8%以下
精検受診率	R5	64.1%	95.2%	73.2%	64.5%	79.5%	78.4%	80.9%	88.5%
	基準値	90%以上							
精検未受診率	R5	6.6%	0.6%	3.4%	11.3%	4.2%	4.4%	4.0%	2.0%
精検未把握率	R5	29.2%	4.2%	23.5%	24.2%	16.3%	17.2%	15.1%	9.5%
陽性反応適中度*	R5	0.7%	2.1%	1.1%	2.8%	5.3%	4.5%	6.3%	4.9%
	基準値	1.1%以上	1.9%以上	1.6%以上	2.6%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上	4.3%以上
がん発見率*	R5	0.04%	0.11%	0.02%	0.15%	0.14%	0.20%	0.11%	0.37%
	基準値	0.08%以上	0.13%以上	0.03%以上	0.16%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上	0.29%以上

\*子宮頸がん検診はCIN3以上の発見率又は陽性反応適中度

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(12/16)

## 3 今後の取組の方向性

様々なツールを駆使して各自治体の状況を詳しく集計・分析し、改善に繋がる技術的支援を継続して実施する

### NEW とうきょう健康ステーションでの数値公表

従来のホームページを再構築し、公表データをダッシュボード化。性別や年齢5歳階級別等の属性別のプロセス指標値を分析（データ出力可）できる機能を実装

➡ 資料8

### 区市町村訪問・がん検診事業担当者連絡会

実施体制や精度管理に課題のある自治体への個別訪問による技術的助言・指導や、好事例の共有や担当者間での意見交換を目的としたグループワークの開催

➡ 資料9

### がん検診実施機関における精度管理のためのデータ活用事業

検診機関別プロセス指標や検診機関用チェックリストの遵守状況を把握するためのシステム構築や、評価・改善策を個別にフィードバックする様式のひな型を提供

➡ 資料11

### がん部会通知

指針の遵守状況を評価し、指針外検診を実施している自治体に対し、改善意見を通知、年度当初に開催するがん検診事業担当者連絡会において、事業の概要・意義を説明の上で順次発出

➡ 資料5-2、6-2、7-3

# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(13/16)

## 4 がん部会通知

### 通知文

別紙

**東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会意見**

**1 がん検診精密検査受診率の向上**

精検受診率の向上には、精検未受診率と精検結果未把握率とを正確に区別した上で比較し、いずれか高い指標を優先して改善していくことが重要です。「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」で定めた「がん検診精検受診率90%」の目標値達成の取組を一層推進していくため、昨年度に引き続き、精検受診率を重点改善指標とし、改善に向け取り組んでいくようがん部会より意見がありました。

貴自治体におかれましては、下表のとおり、精検受診率が基準値未満のがん検診がありましたので、下記（1）及び参考資料を参考に、該当指標値の改善に向けた取組を検討してください。

貴自治体は **類型Ⅱ 精検未受診率高値タイプ** です。

	胃（エックス線）			胃（内視鏡）			肺		
	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率
集団検診	83.3%	16.7%	0.0%	-	-	-	66.7%	33.3%	0.0%
個別検診	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大腸			子宮頸			乳		
	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率
集団検診	84.2%	15.8%	0.0%	-	-	-	94.3%	0.0%	5.7%
個別検診	81.5%	7.4%	11.1%	85.7%	0.0%	14.3%	92.1%	5.3%	2.6%

※類型の詳細は最終頁を御覧ください。上記の表で示されている基準値は「がん検診事業のあり方について」（がん検診のあり方に関する検討会 令和5年6月）に示される基準値を指します。

※がん種毎に高い指標値が異なる場合は、該当するがん種が多い指標値を優先的に改善してください。

※また、同数の場合は精検結果未把握率を優先して改善してください。

※都内各自治体のプロセス指標等を記載したデータ一覧については、東京保健医療局ホームページ <https://www.hokenyori1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/06gan3.html>

(1) 次の類型に移行するための取組  
精検未受診率を下げ、類型Ⅱから類型Ⅲに移行するための取組

ア 一次検診受診時まで、あらかじめ「要精検の場合は必ず精検を受けること」を含む「受診者への説明」資料を配布し、かつ、精密検査の勧奨時には、精密検査の重要性を十分に伝える。

イ 精密検査の受診勧奨・再勧奨の徹底  
精密検査受診勧奨用リーフレット（東京都作成）等の活用

ウ 精密検査機関一覧を要精検者に提示  
要精検者が精密検査を受診するための利便性を向上させる

＜参考＞「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用 令和6年3月）」の関連項目  
精検受診率向上に対応するチェックリスト項目です。取組の参考にしてください。

## 令和5年度の精検受診率・精検未受診率・精検未把握率とそれをふまえた4段階の類型を記載

貴自治体は **類型Ⅱ 精検未受診率高値タイプ** です。

	胃（エックス線）			胃（内視鏡）			肺		
	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率
集団検診	83.3%	16.7%	0.0%	-	-	-	66.7%	33.3%	0.0%
個別検診	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大腸			子宮頸			乳		
	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率
集団検診	84.2%	15.8%	0.0%	-	-	-	94.3%	0.0%	5.7%
個別検診	81.5%	7.4%	11.1%	85.7%	0.0%	14.3%	92.1%	5.3%	2.6%

## 類型に応じた取組内容

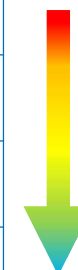
精検未受診率を下げ、類型Ⅱから類型Ⅲに移行するための取組

- ア 一次検診受診時まで、あらかじめ「要精検の場合は必ず精検を受けること」を含む「受診者への説明」資料を配布し、かつ、精密検査の勧奨時には、精密検査の重要性を十分に伝える。
- イ 精密検査の受診勧奨・再勧奨の徹底  
精密検査受診勧奨用リーフレット（東京都作成）等の活用
- ウ 精密検査機関一覧を要精検者に提示  
要精検者が精密検査を受診するための利便性を向上させる

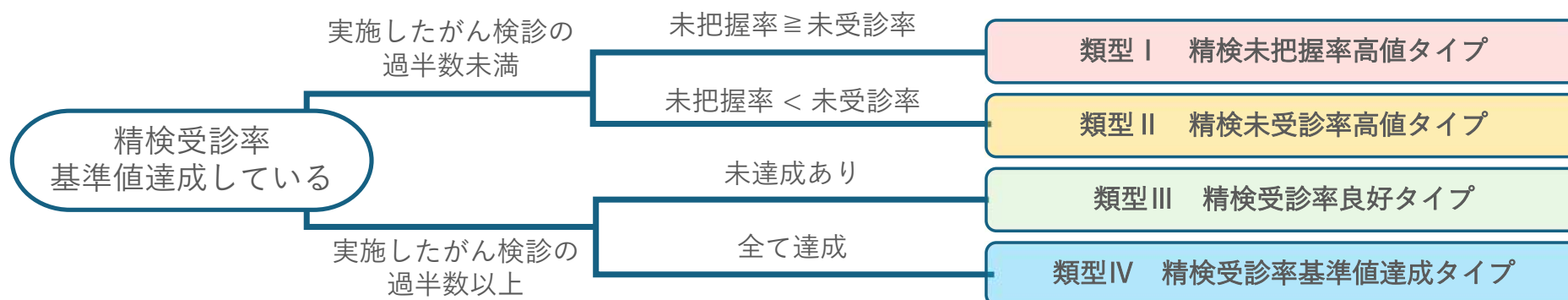
# 東京都がん検診精度管理評価事業 (3)プロセス指標(14/16)

## 類型一覧

類型	タイプ名	定義	R4 該当自治体数	R5 該当自治体数
I	精検未把握率高値タイプ	精検受診率が基準値未満の検診の中で、 未把握率 $\geq$ 未受診率である検診が半数以上の自治体	47	47
II	精検未受診率高値タイプ	精検受診率が基準値未満の検診の中で、 未把握率 < 未受診率である検診が過半数の自治体	7	7
III	精検受診率良好タイプ	実施する過半数以上のがん検診で 精検受診率が基準値達成している自治体	6	6
IV	精検受診率基準値達成タイプ	実施した全てのがん検診で 精検受診率が基準値達成している自治体	0	0
—	要精検者0人	実施した全てのがん検診で 要精検者数が0人であった自治体	2	2



目指すべき  
改善の方向



## 助言内容

### 類型Ⅰ

精検未把握率高値タイプ



### 類型Ⅱ

精検未受診率高値タイプ



### 類型Ⅲ

精検受診率良好タイプ

## 精検未把握率を下げ、**類型Ⅰ**から**類型Ⅱ**に移行する取組

### ア 精検結果把握体制の構築

- 精検結果報告書（東京都統一様式）や都指針掲載の様式類の導入
- 精検結果回収ルートの整備
- 都内の状況を見ると、精密検査実施医療機関から区市町村に報告されるまでに介在する医療機関が少ない回収ルートは精検結果未把握率が低い傾向にあります。  
例1）精密検査実施医療機関から直接区市町村に報告  
例2）精密検査実施医療機関から地区医師会を通じて区市町村に報告
- 精検結果報告書の依頼文に報告期限を明記（例：精検実施日から1か月以内に返却など）
- 精検結果について一次検診機関や要精検者本人に定期的に確認する（例：3か月、6か月、1年後の計3回の確認など）。
- 精検結果を自治体に報告しやすいよう、返送先が記載された返信用封筒を、予め検診機関又は精検機関に配布しておく。

### イ 精密検査機関一覧を要精検者に提示

精検結果の報告に同意を得られた医療機関を一覧にし、要精検者に提示することで、精検結果が報告される体制を構築する。

## 助言内容

### 類型Ⅰ

精検未把握率高値タイプ



### 類型Ⅱ

精検未受診率高値タイプ



### 類型Ⅲ

精検受診率良好タイプ

## 精検未受診率を下げ、**類型Ⅱ**から**類型Ⅲ**に移行する取組

- ア 一次検診受診時まで、あらかじめ「要精検の場合は必ず精検を受けること」を含む「受診者への説明」資料を配布し、かつ、精密検査の勧奨時には、精密検査の重要性を十分に伝える。
- イ 精密検査の受診勧奨・再勧奨の徹底  
精密検査受診勧奨用リーフレット（東京都作成）等の活用
- ウ 精密検査機関一覧を要精検者に提示  
要精検者が精密検査を受診するための利便性を向上させる。

※ **類型Ⅲ**から**類型Ⅳ**への移行は、精検未把握率改善及び精検未受診率改善の取組を複合的に実施する